

海外短信



— アメリカ —

エルパソより

～ 古河AS(株) ～



国境から見たエルパソ

私が住んでいるエルパソはアメリカ合衆国テキサス州の最西端に位置する人口約70万人の都市です。夏は約40℃の日々が続き、降水量も少なく乾燥している砂漠気候です。紫外線の強さも半端ではなく、日焼け止めが必需品となります。飛行機から見えるエルパソの景色は砂漠の砂とブッシュ、そして木が一本も生えていない岩山であり、町から少し郊外に向かうと、直ぐに映画で見たような、荒野に永遠に続いていそうな直線の道路が現れます。

また、エルパソは、リオ・グランデ川を挟んでメキシコ ファレスと接する国境の都市でもあります。その為、人口に占めるヒスパニックの割合が多く、英語のみならず、スペイン語も通用します。アメリカ人と聞いて想像する白人、黒人の割合も少なく、ここはメキシコでは無いか!と一瞬疑うほどです。更に、当社工場はファレスにあり、毎日、国境を越えての出勤をしています。こちらは本物のメキシコになるので、当然メキシコ人とスペイン語がほとんどです。

日々、メキシコ色の強い生活を送っていますが、スペイン語が上達する気配は全く無いことが残念です。



エルパソの砂漠風景



メキシコ国旗のある風景



FURUKAWA LEAR CORPORATION スタッフ一同